

令和 8 年度

社会福祉法人 七施会 事業計画書

令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 31 日まで



双ヶ丘とは南北に並ぶ 3 つの丘の総称であり、北から順に一の丘（標高 116m）、二の丘（標高 102m）、三の丘（標高 78m）と呼ばれる。6 世紀後半から 7 世紀前半に築かれた 24 基の古墳があり、中世には天皇の遊獵地であり、高位貴族の山荘地でもあった。

丘に七施会の N と NANASEKAI を加えて、ロゴマークとしています。



アムールうずまさ



双ヶ丘



メルシーうずまさ
プルミエールうずまさ

< 目次 >

1. 法人概要
2. 基本理念・従事者 3 カ条・運営方針
3. 重点的取組み事項
4. サービス事業所別事業計画
5. 業務概要・行事計画
6. 会議・研修計画
7. 委員会計画

1. 法人概要

【沿革】

年 月 日	事 業 区 分	備 考
平成 7 年 5 月 29 日	社会福祉法人 七施会	認 可
平成 8 年 4 月 30 日	特別養護老人ホームアムールうずまさ アムールうずまさ短期入所生活介護	事業開始
平成 8 年 5 月 1 日	アムールうずまさ通所介護事業所 老人介護支援センター	事業開始
平成 12 年 4 月 1 日	アムールうずまさ居宅介護支援事業所	事業開始
平成 18 年 4 月 1 日	(介護予防事業) アムールうずまさ介護予防入所生活介護 アムールうずまさ介護予防通所介護事業所	事業開始
平成 24 年 7 月 1 日	アムールうずまさ訪問介護事業所 アムールうずまさ介護予防訪問介護事業所	事業開始
平成 27 年 3 月 29 日	地域密着型特別養護老人ホームメルシーうずまさ メルシーうずまさ短期入所生活介護事業所 メルシーうずまさ介護予防短期入所生活介護事業所 メルシーうずまさ通所介護事業所 メルシーうずまさ介護予防通所介護事業所 サービス付高齢者向け住宅プルミエールうずまさ おおきにうずまさ地域交流センター	事業開始
平成 27 年 4 月 1 日	メルシーうずまさ訪問介護事業所 メルシーうずまさ介護予防訪問介護事業所 老人介護支援センター アムールうずまさ居宅介護支援事業所	所在地・ 名称変更 所在地変更
平成 30 年 4 月 1 日	アムールうずまさ介護予防通所介護事業所 →アムールうずまさ通所介護総合事業 メルシーうずまさ介護予防通所介護事業所 →メルシーうずまさ通所介護総合事業 メルシーうずまさ介護予防訪問介護事業所 →メルシーうずまさ訪問介護総合事業	介護保険制度 改正に伴い変 更
平成 30 年 7 月 1 日	アムールうずまさ居宅介護支援事業所 アムールうずまさ老人介護支援センター →メルシーうずまさ居宅介護支援事業所 メルシーうずまさ老人介護支援センター	所在地・ 名称変更
令和 2 年 1 月 1 日	メルシーうずまさ訪問介護事業所	休止
令和 2 年 5 月 1 日	アムールうずまさ通所介護事業所	定員変更 30 名→25 名

令和2年7月1日	メルシーうずまさ訪問介護事業所	再開
令和7年2月1日	アムールうずまさ通所介護事業所	定員変更 25名→20名
令和8年10月 (予定)	メルシーうずまさ短期入所生活介護事業所	定員変更 10名→4名
	地域密着型特別養護老人ホームメルシーうずまさ → 特別養護老人ホームメルシーうずまさ	定員変更 29名→35名 施設種別変更 名称変更

【事業拠点・構造】

＜アムールうずまさ＞

	特養	短期	通所
定 員	50名	4名	25名
延床面積	1,943.42 m ²		443.46 m ²
居 室	四人室8室 二人室6室 個室6室	二人室2室	-
敷地面積	1,883.58 m ²		
構 造	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建		

＜メルシーうずまさ＞＜プルミエールうずまさ＞

	特養	短期	通所	訪問	居宅	交流	サ付
定 員	29名 →35名に 変更予定	10名 →4名に 変更予定	20名×2	-名	-名	-名	8名
延床面積	1,367.30 m ² → 変更予定	472.06 m ² → 変更予定	129.59 m ²	8.18 m ²	30.16 m ²	124.74 m ²	565.33 m ²
居 室	全室個室ユニット (洗面・トイレ付)		-	-	-	-	ワソールム
敷地面積	1,350.00 m ²						
構 造	鉄筋コンクリート造 4階建						

※通所:午前・午後2単位制

【事業の実施場所・代表連絡先】

＜アムールうずまさ＞

●「代表連絡先」 法人本部 ・ 特養 ・ 短期 ・ 通所

〒616-8107 京都府京都市右京区太秦一ノ井町39番地8

TEL 075-881-6666 FAX 075-864-0081

＜メルシーうずまさ＞＜プルミエールうずまさ＞＜おおきにうずまさ＞

●「代表連絡先」 特養 ・ 短期 ・ 通所 ・ 訪問 ・ 居宅 ・ サ付 ・ 地域交流センター

〒616-8107 京都府京都市右京区太秦一ノ井町41番地

TEL 075-881-5557 FAX 075-881-5547

【法人名称の由来】

七施の心とは・・・

七つの布施	布施の意味
身 施（しんせ）	肉体による奉仕
心 施（しんせ）	思いやりの心
眼 施（がんせ）	やさしいまなざし
和顔施（わがんせ）	柔和な笑顔
言 施（ごんせ）	あたたかい言葉
牀座施（しょうざせ）	自分の席を譲る
房舎施（ぼうしゃせ）	わが家を一夜の宿に貸す

無財の七施とは、お金がなくても、地位がなくても、何の持ち合わせがなくとも、簡単なようで難しいことではあるが、いつでも、どこでも、誰に対してでもできることです。

無財と云うのは、費用も資本も、そして能力も使わないで実行できる布施のことなのです。

法人は、この七つの布施の言葉の意味を大切にし、「七施会」と名付けられました。

2. 基 本 理 念

“基本的人権の尊重”

“高齢者が安定し信頼できる介護と援助”

“地域福祉との連携”

“職員資質の向上と自己研鑽”

お一人お一人の、暮らしの在り方、価値観を尊重し、心身の健康状態、好みや習慣等を包括的に捉えて、心を込めたサービスの提供に努め、尊厳を大切にし、地域への貢献に努めます。

従 事 者 3 力 条

1. 全ての人が安心して笑顔にあふれる環境づくりに努めます。
2. “そのひとらしさ”の追求と実践に努めます。
3. 安定したサービス提供に努めるため職員資質の向上と職員間の連携に努めます。

運 営 方 針 “利用者第一主義”

- 1) 事業所の特性に応じて、ご利用者様が求めるサービスの提供に努めます。
- 2) 明るく清潔感があり笑顔あふれる事業所運営に努めます。
- 3) 個々の生活スタイルを尊重し、個別対応に努めます。
- 4) 目標達成に向けて、職種間、事業所間の連携を密にし、理解した行動に努めます。
- 5) 常に業務改善を意識し、新たな取組にも積極的な行動に努めます。
- 6) 意見は積極的に述べて、職員間の相互理解に努めます。
- 7) 事業の継続・発展のために適正利益が確保できる行動に努めます。
- 8) ステージ別による義務達成に向けた行動に努めます。
- 9) 理念・3カ条・運営方針の実践に向けて、日々自らの研鑽に努めます。
- 10) 業務の継続性を意識し、完成度を高める事に努めます。
- 11) 積極的に事業所運営状況等の開示に努めます。
- 12) 地域ニーズの把握と社会貢献へ積極的に取り組みます。
- 13) 関係法令・法人理念・諸規程・社会的ルールを遵守し、その実現のために取り組みます。
(法人ガバナンス強化、コンプライアンス強化)

3. 重点的取組み事項

- 1) 職員の資質向上
 - ・ 資格取得支援体制を引き続き強化し、業務に必要な各種資格取得を支援するとともに、介護福祉士資格の取得を推進します
 - ・ 職員の経験年数やキャリアパスに合わせた効果的な育成を行います
 - ・ 職員の自主性を引き出せるような取り組みを行います
- 2) 人材の確保と定着
 - ・ 職員の処遇改善のための見える化を進め、働き甲斐のある職場環境を整えます
 - ・ 多様な採用ツールをうまく活用するとともに、公的な機関とのつながりを強化し、採用活動の強化を図ります
 - ・ 採用対象者の幅を広げ、人材確保の安定化を図ります
- 3) 健全な運営の推進
 - ・ 経費の見直しを引き続き行い、効率的な運営を行います
 - ・ 運営状況の定期的な確認と共有により、役職者による現状理解の促進と対応能力の強化を図ります
- 4) 利用者の尊厳の尊重

- ・ 高齢者虐待防止、不適切ケア廃止への取組みを推進します
 - ・ 利用者の尊厳の保持と認知症への対応力強化を図ります
- 5) コンプライアンスの強化
- ・ 定期的に部門ごとの自主点検・他者点検を行い、サービスが適正に提供されているか確認します
 - ・ 外部からの目を積極的に入れるよう努め、施設の透明性を高めます。
- 6) 地域における活動の推進
- ・ 地域の行事や活動等への参加・協力を進め、地域住民が参加できる法人イベントを企画し、地域との交流機会を増やします
- 7) 災害・感染症への備え
- ・ BCP の見直し、訓練実施により、実用性の高いものにし、いざという時に動ける体制を整えます
- 8) 老朽化設備の更新
- ・ 利用者の安全性、快適性を考慮して更新箇所の優先順位を見極め、計画的に進めます
 - ・ 今後更新が必要となる箇所を確認し、備えます
- 9) 生産性向上への取組みの推進
- ・ 職員の理解促進を図り、様々な視点から検討し、何が必要か見極めて取り組みます

4. サービス事業所別事業計画

【利用稼働目標値】

事業区分	アムールうずまさ	
	稼働率	平均人員
介護老人福祉施設	95.0 %	47.5 名
短期入所生活介護	95.0 %	3.8 名
通所介護	68.0 %	13.6 名

事業区分	メルシーうずまさ	
	稼働率	平均人員
(地域密着型) 介護老人福祉施設	96.0 %	上期 27.8 名 下期 33.6 名
短期入所生活介護	上期 70.0 % 下期 88.0 %	上期 7.0 名 下期 3.5 名
通所介護	65.0 %	26.0 名 (一単位13.0名)
訪問介護	— %	8.5 名
居宅介護支援	— %	70.0 名

※メルシーうずまさ通所介護：午前・午後2単位制

※令和 8 年 10 月より変更予定

地域密着型特別養護老人ホームメルシーうずまさ→特別養護老人ホームメルシーうずまさ

定員 29 名→35 名

メルシーうずまさ短期入所生活介護

定員 10 名→4 名

事業区分	プルミエールうずまさ	
	稼働率	平均人員
サービス付高齢者向け住宅	97.0%	7.8 名

【目標達成に向けた各事業所の重点的取組み事項】

アムールうずまさ

介護老人福祉施設
1) ご利用者の状態変化に早期に対応でき、安心・安全に過ごせるよう、思いに寄り添い、職員間の情報共有と話し合いを強化して介護の質を高めます 2) ご利用者に楽しみをもって過ごして頂けるよう、イベントや普段からの余暇時間の過ごし方を工夫します 3) 生産性向上を意識し、3M（ムリ・ムダ・ムラ）を見直し業務改善を図ります
短期入所生活介護
1) ご利用者お一人お一人の希望を尊重したサービス提供に努めます 2) 余暇時間の過ごし方を工夫します 3) ご家族やケアマネジャーと情報共有をしっかりと行い、連携強化に努めます
通所介護
1) デイサービスを利用することを楽しみにして頂けるような多彩なプログラムを提案し、選択して頂けるよう体制を整えます 2) ご家族やケアマネジャーとの連携強化、信頼関係の構築に努めます 3) 幅広い知識と技術を身につけ、様々な事態への対応力を高めます

メルシーうずまさ

(地域密着型) 介護老人福祉施設
1) ご入居者の生活に寄り添いながら「気付き」を大切にし、多職種連携で日々の生活の中にも楽しみがもて「その人らしさ」を大切にしたサービスの提供に努めます 2) 業務の可視化や行動分析を行い、業務の属人化やムリ・ムダ・ムラを明らかにし、整理をしていきます 3) 外部・内部研修に積極的に参加し、職員資質の向上とサービスの質の向上に努めます

短期入所生活介護
1) 提供する具体的なサービスについてご利用者ご家族の同意の上、多職種共同で援助を行い、ご利用者のQOLの向上を目指します 2) 居室が「暮らしの場」となる心地よい生活環境作りに努めます 3) ご利用者・ご家族、居宅、包括等各事業所と連携の強化を図り信頼関係の構築に努め、その人の生活をチームでサポートします
通所介護
1) 入浴と生活リハビリを通してご利用者・ご家族共に心身が元気に活気ある生活を維持しできるように支援します 2) ご利用者・ご家族、居宅、包括等各事業所と連携の強化を図り信頼関係の構築に努めその人の生活をチームでサポートします 3) 職員資質の向上のため積極的に研修に参加し、専門職として広い視野で知識・技術のスキルアップに努めます
訪問介護
1) 住み慣れたご自宅での生活が安全・安心に維持・継続できるように支援します 2) ご利用者・ご家族、居宅、包括等各事業所と連携の強化を図り信頼関係の構築に努め、その人らしい生活をチームでサポートします 3) 職員資質の向上のため積極的に研修に参加し、専門職として広い視野で知識・技術のスキルアップに努めます
居宅介護支援
1) ご利用者様中心に家族や関わる多職種との連携を図り自立支援、重度化防止、中立性に努め、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう支援します 2) 地域の人との関わりを大切にしたチーム作りを行います 3) 研修等参加し、専門職として知識や技術等スキルアップし、職員の資質向上に努めます

プルミエールうずまさ

サービス付き高齢者向け住宅
1) ご利用者・ご家族とコミュニケーションを積極的に行、個別のニーズに寄り添いながら、その人らしい生活が継続できるよう支援します 2) 心身ともにいつまでも活気ある生活が送れるよう居宅、包括等各事業所と連携の強化を図り、信頼関係の構築に努め、その人らしい生活をチームでサポートします

5. 業務概要・行事計画

引き続き感染予防に留意しながらも、当たり前の日常に近づけることができるよう工夫します。

※ 別紙

6. 会議・研修計画

対面での実施を基本としますが、必要に応じてオンラインも活用し、効率的に実施します。外部研修へも積極的に参加し、スキルアップに努めます。

※ 別紙

7. 委員会計画

アムール・メルシーに分かれて実施しますが、一部の委員会やプロジェクトは合同開催とする、または必要に応じてオンラインを活用して実施します。

※ 別紙